

自ら学ぶ生徒  
正しく行動する生徒  
健康でたくましい生徒



令和元年10月25日(金)発行  
【発行責任者】郡山市立富田中学校長 熊坂 洋

# 手をたずさえて

## “学級力”発揮！ レベルの高い合唱コンクールでした

事前に行われた学年リハーサルを観て、今年の合唱コンクールは審査が難しくなるだろうと感じていました。まさにその予感は的中し、レベルの高い合唱が披露され、どの学年も審査員泣かせの僅差の勝負となりました。1年生は、1年生らしい初々しい歌声でした。2年生は、男声女声のバランスがとれた質の高い合唱でした。そして、3年生。さすがでした。どのクラスも甲乙つけがたい聴く者の心に響くすばらしい合唱を披露してくれました。何度も胸がジーンとしたり、鳥肌が立ったりしました。男声女声のバランスや曲調をよくとらえた



まとまりという点で、他のクラスを少しリードした4組と6組が、郡山市中学校音楽学習発表会への出場権を獲得しました。3年5組はもちろん他のクラスも4組、6組に引けをとらないクラス合唱でした。近年稀に見るハイレベルな戦いでした。また優れた指揮、伴奏をした生徒たちにも賞が与えられました。今年から縦割り合同練習会が行われました。1・2年生は、間近で感じた3年生の合唱の素晴らしさを受け継ぎ是非来年に繋げてください。



3年4組「結—ゆい—」




3年6組「信じる」

3年4組と6組は、11月7日(木)に郡山市民文化センターで開催される郡山市中学校音楽学習発表会(市内全中学校等で代表に選ばれたクラスが一堂に会し歌を披露する会)に、学校代表として出場します。是非とも富中PRIDEの歌声を会場いっぱいに響かせてほしいと思います。

クラス合唱には不思議な魅力があります。合唱部とは違って未熟で精錬されていない部分も多くあります。しかし、苦しみ悩みながらも学級のみんなで創り上げていくところに価値があり、合唱を通して学級としてどれだけ成長できたかが、とても重要です。それが“学級力”になるのです。



	学 級	曲 名	指 揮 者	伴 奏 者
1年	4組	明日という日が	込山 愛規	佐々木萌里
	1組	カリブ夢の旅	渡部 魁斗	菅野 惺南
	3組	涙をこえて	南梨 夢乃	高橋 玲奈
	●8組	空高く	中島 音和	前田奈々花
	●5組	大切なもの	櫻澤 成美	渡邊ひより
	6組	CHANGING 	和田 空	◆星 ひらり
	●2組	マイバラード	藤枝 賢司	野崎 結愛
2年	7組	地球の詩	◆五十嵐はな	前林沙里奈
	5組	輝くために	菅野 那樹	高橋 彩葉
	●1組	COSMOS	◆高德 小暖	平栗 獅己
	2組	手紙～拝啓十五の君へ～	鈴木 理瑚	◆佐藤 里南
	7組	My Own Rord～僕が創る明日～	上野 陽生	遠藤 結月
	●6組	ヒカリ	橋本 侑大	古川 優芽
3年	●4組	夢のかなう場所へ	濱津安弥士	梨本 義斗
	3組	未来へ	佐藤 芽生	堺入 由芽
	●5組	証	齋藤 千桜	武田 花香
	2組	あなたへ ～旅立ちに寄せるメッセージ～	渡部 優人	伊藤 杏
	7組	虹	◆大友 駿	◆飯村 琴海
	1組	群青	遠藤 栞音	大束 奈々
4年	3組	言葉にすれば	松本 空	角田 凜
	○4組	結 —ゆい—	佐久間美羽	菊地こころ
	○6組	信じる	大橋 七海	倉澤 舞

【学 級】●優秀賞、○優秀賞【市音楽学習発表会出場】

【個 人】◆指揮者賞、ピアニスト賞

## 『合唱コンクール』を振り返って…

市音楽学習発表会に出場する2つのクラス代表生徒に思いを書いてもらいました。

今回の榎祭では、4組は見事優秀賞を受賞し文化センターへの切符を勝ち取ることができました。昨年は賞を取れなかった無冠の4組が返り咲いたことを本当に嬉しく思います。最初の4組は、本当に「なんとなく」で練習を始めていました。私も初めての指揮で大きな不安を抱えていました。「本当にこのままで大丈夫なのか」何度も私の頭の中をよぎり、一度心が折れてしまいそうになりました。その時はとても辛かったです。私の心を支えてくれたのは、担任の先生や仲間たちでした。本当に嬉しかったことを今でも鮮明に覚えています。そこから4組は猛練習を続け、朝、昼、放課後と毎日少しずつ前進していくことができました。ただ「歌う」という合唱から「伝える」合唱になってきた時は本当に感動し、心が動かされました。一人一人が提案し、高め合うことで、4組の絆は確固たるものになり、今回の結果につながったのだと思います。賞を取れたことももちろん嬉しいですが、私達4組が一番嬉しかったのは、「今まで積み上げてきたものを発揮し、自分達の合唱ができたこと」です。緊張でテンポが速くなり、私自身「やってしまった」と思うところもありましたが、それよりも「やりきった！」という気持ちの方が大きかったです。4組一人一人の顔からも感じる事ができ、これまでにない達成感を得ることができました。今回のこの結果は、私だけでなく、伴奏者、クラスみんな、先生方、他クラスの仲間たちなど、本当に多くの方々力を頂いて得られたものです。私自身、この合唱から得られたものはとても大きいものだと感じます。これらの思いを忘れずに、文化センターで目一杯4組の思いを「伝えて」こようと思います。(3年4組 佐久間美羽)

3年間で最後の合唱コンクールは「信じる」を歌いました。6組にとっては曲調がつかみにくく、何度もクラスで悩んだりしました。しかし、一人一人の意志が強く、文化センターへの切符を手に入れることができました。6組は文化祭当日になってもパート内の音取りをおこたらずに練習しました。本番の演奏は、みんな緊張した様子でテンポも速まってしまったところがありましたが、今までやってきたことに結果がついてきてくれて、6組全員が感動していました。しかし、目標の「高木先生を泣かせる！」は達成できなかったのも、「まだ6組にはやれることがある」というメッセージだと受けとめ、文化センターで絶対に達成してきます。6組の演奏の背景には、熱心な指導をしてくださった白石先生、高木先生含め他クラス、他学年からの応援、何より3年6組の力が詰め込まれている特別なものでした。(3年6組 倉澤 舞)

## 思いを後輩に託して…「閉祭」

合唱コンクールの結果発表・表彰に続き、生徒会役員と応援団の引き継ぎが行われました。生徒会長は今野虹典君から二瓶柚乃さんへ、応援団長は尾辻晴君から田母神稟君へ、それぞれの思いがバトンタッチされました。旧生徒会役員、そして応援団幹部の生徒のみんな、本当にご苦労さまでした。心から感謝します。最後は、榎祭への道のりとしてスライド写真が流され、実行委員会の3年生のメンバーが係ごとに登壇し、その労を讃え合いました。最後に、実行委員長を務めた今野虹典君に“榎祭への思い”をまとめてもらいました。



生徒会役員引き継ぎ



今野君の閉祭の言葉

## 学びのつまった榎祭の物語

毎朝の合唱練習に放課後の実行委員会。時には昼に練習、活動したりと榎祭に向け、着々と準備を進めてきました。今回の榎祭を通して、全校生徒の団結力はより高いものになったと思います。

今年の榎祭のテーマであった「Believe in our story ~思い出は今この瞬間に~」。それぞれの持つ榎祭の思い出を全員のストーリーにしたいという思いから、このテーマにしました。榎祭準備の段階から「榎祭を絶対に成功させる」という思いが、学年問わず全校生から感じられました。意見がかみ合わなくて対立してしまったり、みんなで協力して新しいアイデアを見出したり、その一つ一つも榎祭の思い出です。それぞれの努力によって作りあげられた榎祭になったと思います。また、今年の合唱コンクールはレベルの高いものになりました。それぞれのクラスの特長が歌によって表現されていました。どのクラスも会場全体を感動で包みこむような合唱ができたと思います。

そして、大いに盛り上がる時と静かに話を聞かすときの切りかえのできる、メリハリのついた榎祭をつくることができたと思います。私たちは、最後までやり抜くこと、些細なことに気づくことの大切さなど、様々なことを学ぶことができました。そのような学びのつまった思い出、物語は、自分たちの将来に役立てていくことができると思います。これからも、お互いを信じて、学びを生かして、富田中の団結力を高めていきましょう。皆さん、ありがとうございました。

今野君、大役を見事成し遂げました。ご苦労さまでした。